

休校中の家庭学習—教科書の使い方

令和2年4月6日
港区立芝小学校

教科書の使い方

新型コロナウイルスの感染予防のためにしばらくの間休校となります。休校期間中にホームページで担任の先生から家庭学習の内容を知らせます。新学年の新しい教科書ということもあり、家庭学習のやり方に戸惑うことがないように教科書の使い方について説明します。

1. 新しい教科書の最初には必ず「学習のすすめ方」が書かれています。学習に取り組む前に必ず読んで、学習の見通しをもちましょう。

例
国語

はじめに ⇒

読む
書く
話す・聞く

 ⇒ ふりかえる ⇒ 学習や生活にいかす

社会

つかむ ⇒ 調べる ⇒ まとめる ⇒ いかす

算数

学習の入り口 ⇒ 今日の学習 ⇒ 学習のしあげ

理科

見つけよう ⇒ 問題 ⇒ 予想しよう ⇒ 計画しよう ⇒
かんさつ・じっけん ⇒ けっかから考えよう ⇒ けつろん ⇒
まなびをひろげよう

生活

ホップ ⇒ ステップ ⇒ ジャンプ
(みつける) (学校をたんけんする) (おもいだす これからにつなげる)

2. 各学習に取り組みましょう。

例

3年 国語科

国語では単元の最初に単元のねらいと教材名が書かれています。

単元のねらい 読んで、そうぞうしたことをつたえ合おう
教材名 きつつきの商売

①ねらいを意識して教材を読みます。

- 声に出して繰り返し読みましょう。



②教材の最後にある「見通しをもとう」に取り組めます。

- とらえよう ⇒ ふかめよう ⇒ まとめよう ⇒ ひろげよう
の順番にそって考えながら学習しましょう。



③「ふりかえろう」に取り組めます。

- 分かったこと、考えたことを自分の言葉でまとめましょう。

3. 各教科によって多少のちがいはありますが基本は同じです。知識を身に付けるのではなく、教材から自分の考えをもつことができれば素晴らしいです。「なんで?」「どうして?」と考えることを大切にしましょう。学校が再開したときに学んだことを友達と交流することが楽しみですね。

担当
主幹教諭 岩崎 実